

外国人市民の皆さん、日本の文化を体験 (スイトピアセンターにて)

4/26・5/24
茶道体験

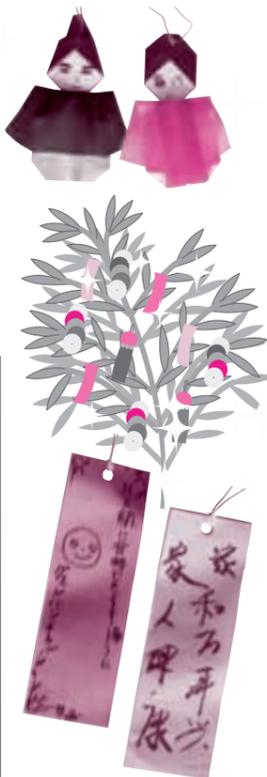


はじめてのお茶は、苦くて飲めないと思ったけどとてもおいしかったよ!

7/12
七夕体験



短冊に願いを込めてかざりました。



7/26
浴衣体験



ゆかたの着かたも学びました。

インフォメーション

【フレンドリー交流事業の中止について】

今年度予定しておりました、ベルギー・ナミュール市、中国・邯鄲市への大垣市小・中学生海外研修派遣事業につきまして、現在の国際情勢に対する不安感が大きいことや対象者が小・中学生であること等を勘案して中止となりました。また、中国・邯鄲市からの受入につきましても邯鄲市側からの申し出により中止となりました。ご理解の程、よろしくお願致します。

【平成26年度事業報告について】

平成26年度事業報告及び計算関係書類は、ウェブサイト (<http://www.i-oiea.jp/>) に掲載しておりますので、ご覧ください。

編集後記

8月9日(日)に、市内の小学5、6年生8名と、フレンドリーの広報委員、国際交流ボランティアが参加して名古屋にある、JICA(ジャイカ)の施設を訪れ、「子ども水惑星探検ツアー」が行われました。施設では、JICAから派遣された方から、発展途上国での生活と、仕事について学びました。

今、地球上で一番大切とされている、「世界の水」の問題についても学びました。紙面では、その様子を掲載させていただきました。自転車のペダルをまわしている写真は、ペダルをまわすと、汚い水が浄化、殺菌され、綺麗な飲み水に変わる自転車で、この自転車が発展途上国で活躍していることに皆が驚き注目しました。

巻頭写真は、国際交流ボランティアの皆さんが活躍されている様子です。国際交流を通じて、世界とつながっています。

みなさまからの情報をお待ちしております

個人や団体などの国際交流活動、海外での異文化体験などの情報等ありましたら、事務局までお知らせください。また、ご意見、ご感想などありましたら、併せてお寄せください。

大垣市内在住外国人の国籍別人数表

総数 4,165人(3月号との比較 -10人) ※平成27年8月末現在

国籍	人数	3月号との比較	国籍	人数	3月号との比較	国籍	人数	3月号との比較
ブラジル	1,779	-4	マレーシア	7	0	パラグアイ	2	0
中国	1,178	-55	パキスタン	7	0	モルドバ	2	0
韓国又は朝鮮	357	-5	台湾	7	1	チリ	1	1
フィリピン	340	22	カナダ	6	-4	ドイツ	1	1
ペルー	156	-1	エジプト	5	0	イラン	1	0
ベトナム	77	24	ボリビア	4	-1	ルーマニア	1	1
ネパール	40	5	ドミニカ共和国	4	0	ロシア	1	0
アメリカ	40	6	ラオス	4	0	スウェーデン	1	0
タイ	31	1	オーストラリア	3	1	トルコ	1	0
インドネシア	22	-2	コロンビア	3	0	コートジボワール	1	0
バングラデシュ	14	2	イタリア	3	0	ウクライナ	1	0
スリランカ	13	0	ミャンマー	3	0	シンガポール	0	-1
カンボジア	12	3	アルゼンチン	2	0	チェコ	0	-1
メキシコ	10	-1	フランス	2	-7	無国籍	3	2
イギリス	9	-2	モンゴル	2	0			
インド	7	4	オランダ	2	0			

総人口に占める割合2.6%



フレンドリー FRIENDLY



国際交流ボランティア



通訳・翻訳



日本語指導



ホームステイ・ホームビジット



日本文化紹介



ボランティアの集い

フレンドリー No.81

編集／公益財団法人 大垣国際交流協会 広報委員会
〒503-0911 大垣市室本町5丁目51番地 スイトピアセンター学習館2階
TEL(0584)82-2311 FAX(0584)82-2314
<http://www.i-oiea.jp/> [E-mail] oiea@mb.ginet.or.jp

発行／2015年9月
印刷／サンメッセ株式会社

子ども「水惑星」探検ツアー

～JICA中部「なごや地球ひろば」へ！～(8/9、なごや地球ひろばにて)

名古屋市にあるJICA中部の体験型施設「なごや地球ひろば」を訪問して、水に関する世界の課題を学び、途上国の文化を体験する「水惑星探検ツアー」を実施しました(小学5、6年生8名参加)。最初に、身振り手振りで自己紹介をするゲームをして、参加者同士打ち解けることができました。その後、地球案内人の方から、アフリカ諸国の干ばつやアジアで起こる洪水など世界中で起こっている水に関する問題や課題を学びました。また、民族衣装の体験や昼食にはネパールカレーの食事をとるなど、異文化を存分に体験することができました。



バスでの移動。みんなワクワク



言葉を使わず、ジェスチャーで自己紹介を行いました。

ネパールのカレーを食べました。



アフリカの生活を聞いて、衛生や水の大切さを学びました。



水が1日5Lしか使えなかったら…？実際に考え、発表しました。



お昼は、世界の食文化体験!!

世界の人口は1秒に2～3人の速さで増加しています。



電光板には1秒ごとの世界の人口が表示されています。



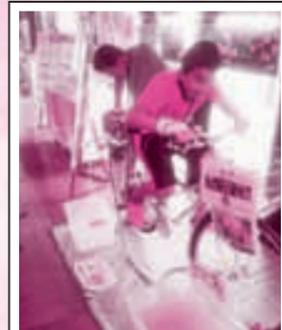
青年海外協力隊の方と交流しました。

研修を通して

- 他の国では、水不足で死んでしまう人もいるから、私たちが身近に使っている水を大切にしようと思えました。
- 今日一番心にのこったことは、ガーナのきせい虫のことや、水のことや、協力隊のことです。きせい虫が水を通して体内に入るなんて想像できなかったのも、とてもおどろきました。



子ども「水惑星」探検ツアーと、子ども外国語読み聞かせ講座は、(一財)自治総合センターの宝くじ助成金で実施しました。



ペダルをまわすと、水を浄化する自転車



民族衣装を着て記念撮影



ひろば&施設見学ツアーを体験しました。

子ども外国語よみきかせ講座

～きつずえいご～ (6/7、スイトピアセンター 幼児活動室にて)

英語とポルトガル語の絵本の読み聞かせや、歌、手あそびなどを通して、親子で外国語に触れる講座を実施しました(110名の親子参加)。山本悦子先生、イギリス出身のジェニー先生、ブラジル出身のカチア先生と一緒に元気よく英語の歌を歌い、英単語カードを使って絵と文字を合わせるビンゴゲームや絵本にちなんだ「たまご探しゲーム」などを楽しく遊び、交流できました。



英語の絵本の時間。



みんなで元気に歌を歌いました。



親子で折り紙や英単語のミニ絵本作り。

Hello!!
Bon dia!!

ポルトガル語の絵本の読み聞かせ



ポルトガル語のお話。はじめて聞くポルトガル語に興味深々。



外国語の絵本も紹介しました。



荒崎小学校の国際交流授業

荒崎小学校の5年生の皆さんは、総合学習の時間に国際理解のプログラムがあり、今年も大垣市の国際交流や地域に暮らす外国人への日本語学習支援活動などについてお話をさせていただきました。また、大垣市在住の楊慧さん(中国出身)からは、自分の国と違ったこと、日本で生活している中で気付いたことなどをお話してもらいました。



協会の活動についてお話を聞いています。



フレンドリーシティからの交流記念品を見て海外文化に触れました。



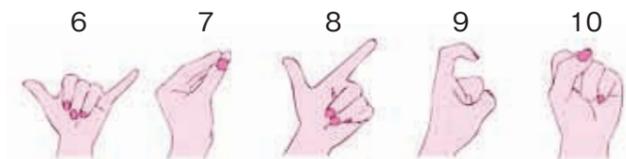
フレンドリーシティについて熱心に調べ学習をしています。

<楊慧さんのお話を紹介します>

みなさんも数字を伝えるとき、手を使って表現することがあると思いますが、中国と日本は少し違いがあります。1～5は日本と同じなので伝わりますが、6～10は日本と違います。中国では、6～10は片手で表現できるようになっています。

私は日本に来なければ、おそらく世界中のみんなが同じ手振りで数字を表現していると思っていたかもしれませんが、私たちは生きているうちに、色んなことを見るべき、聞くべき、経験すべき、そうしないと人生の損になってしまう気がします。

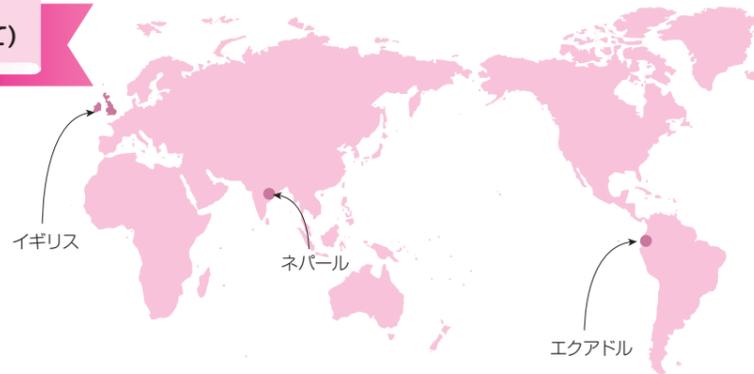
中国式☆手数字



多文化交流サロン

(8/22、スイトピアセンターにて)

大垣市には、40以上の国・地域の出身者が住んでいます。それぞれの国・地域には生活文化がありますが、互いの違いを尊重し認めながら共に生活できる多文化共生社会の実現に向けて、大垣市は取り組んでいます。外国の文化や習慣の違いに興味・関心を持つことがその第1歩です。今回は、イギリス、ネパール、エクアドルの3カ国について、出身者や滞在経験者からそれぞれの国の文化や特色を紹介する講座を開催しました。(16名参加)



エクアドル

エクアドルは、スペイン語で「赤道」の意味。
 首都: キト
 人口: 1,542万人 (2013年)
 公用語: スペイン語
 通貨: 米ドル
 名所: ガラパゴス諸島

JICAシニア海外ボランティア(体育指導員)としてエクアドルに2006~2008年までの2年間、マナビ国立技術大学、スポーツ学部のカリキュラム改善と授業実践を目的に活動されました。その時の活動の様子やエクアドルの人々の暮らしなどの紹介がありました。

【大垣国際交流協会ボランティア 稲川裕子】



マーケットとある日の昼食の様子。



イギリス

首都: ロンドン
 人口: 6,411万人 (2013年)
 公用語: 英語
 通貨: スターリング・ポンド
 名所: タワーブリッジ
 大英博物館
 エリザベス・タワー
 (ビッグ・ベン)

イギリス南部にあるレディング出身のローラさん。レディングは、首都ロンドン近郊の町で、約15万人の人口に対し、150の言語が話されている多文化な町です。今回はイギリスという連合王国を構成する各国の紹介などがありました。

【イギリス出身、(公財)岐阜県国際交流センター、国際交流員 ローラ マックリー】



<イギリスの天気>
 イギリスは「一日の中に四季がある」と言われている。
 (1日の天気が変わりやすい。気温の変化がある。急に雨が降り出したり寒くなったりする)

お客さんには、紅茶でおもてなし



紅茶とショートブレッド

- <スコットランド>**
 - ・バグパイプ=袋 (bag) と管 (pipe) を合体させた楽器
 - ・民族衣装キルト
 - ・スコッチウイスキー
- <ウェールズ>**
 - ・森林や湖、丘陵、海岸などの豊かな自然
 - ・独自の言語 (ウェールズ語) をもち、道路標識などは、英語とウェールズ語の2カ国語で表記されている。

- <イングランド>**
 - ・美しいイングリッシュガーデン
 - ・歴史的建造物と現代的建造物が存在する。
- <北アイルランド>**
 - ・火山活動で生まれた4万もの石柱群が連なるジャイアンツ・コースウェイが有名。
 - ・一般の民家等の建物に、紛争を忘れないための絵画などが描かれている。

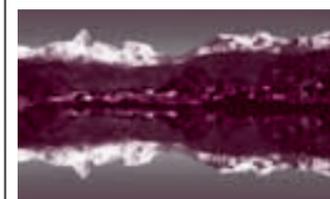


ネパール

首都: カトマンズ
 人口: 2,649万人 (2011年)
 (93個の異なる言語や地域語を持つ100以上の民族が暮らしている)
 公用語: ネパール語
 通貨: ネパール・ルピー
 名所: エベレスト

ネパールの概要や故郷の暮らし、日本の生活について、体験談を交えながら紹介しました。また、4月25日に起きた地震発生後一時帰国し、食糧を届け、仮設住宅を建てるなど支援活動をされた際の、震災後の街の様子、支援活動の様子も紹介しました。

【ネパール出身、大垣市在住 ラグ・ナタ・アディカリ】



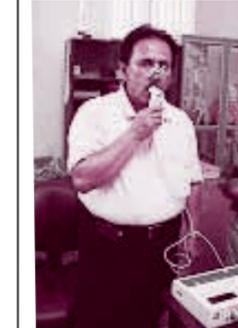
アジアのスイスと呼ばれるポカラ地区。山並がきれい。



電気・水道・ガスが通っていなかったラグさんの育った家(左)。両親のために建てた新しい家(右)は電気・水道など通っているが、1日に14時間停電があり、あまり使えません。



4月25日に起きたネパール地震後に復興支援に訪れた際の写真。



↑大学の校庭
 ←体力測定の実施と比較 (JICAでの活動)



日本武道である剣道の愛好家に出会いました。
 道具(右)は日本から持ってきたもの。



家に洗濯機がない家庭は川で洗濯を行う。子どもを連れて洗濯へ行くが、川はとても急流で、危険である。

後半は、イギリスのお菓子と紅茶を飲みながら、参加者の方との質問交流の時間を持ち、それぞれの国の違いを知ることができました。その一部をご紹介します。

質問: それぞれの国の有名なビールは? どんな飲み方をしますか?

答え:

★イギリス

エールビールとラガービールの2種類が主流です。日本でも飲まれるラガービールは冷やして飲みますが、エールビールは、冷やさずに常温で香りと味わいを楽しんで飲みます。

★ネパール

有名なビールはエベレストビール。本当は冷えたビールを飲みたいのですが、停電が多くて冷えていないことがほとんど。でも、とてもおいしいビールなので、ネパールに行った時は是非、飲んでください。

★エクアドル

日本では見たことがなかったが、エクアドルの大学前の飲み屋に行ったとき、客がみんなサーバで飲んでいて印象的だった。

<各国語で自己紹介>私の名前は〇〇です。

【イギリス(英語)】

My name is 〇〇. (マイ ネーム イズ 〇〇)

【ネパール(ネパール語)】

Mero Name 〇〇 Ho. (メロ ナム 〇〇 ホ)

【エクアドル(スペイン語)】

Me llamo 〇〇. (メ ジャモ 〇〇)



今回は、11月7日(土)に中国についての紹介サロンを実施します。また、2月にも実施予定です。詳細は、ウェブサイトなどに掲載します。みなさまのご参加をお待ちしております。

ラオスでの二年間

JICA青年海外協力隊 23年度1次隊
プログラムオフィサー 有森俊文

私が二年間を過ごしたラオス人民民主共和国は、タイ・ベトナム・中国・ミャンマーに囲まれた内陸国です。マスメディアで紹介されることが少ない国ですが、実は今年で外交関係樹立60周年を迎え、また初代青年海外協力隊派遣国(今年で50周年)であるなど、日本と長く深い関係を持つ国です。



典型的なラオス料理
たっぷりの野菜ともち米、そして挽肉と香草の炒め料理がラオスの定番です。

国際協力の被援助国としても長い歴史を持つラオスですが、その援助をうまく活用し経済的な飛躍を遂げることがなかなかできず、未だに後発開発途上国(国連の分類、世界で48カ国)とされ、経済・社会インフラ整備、農業の発展と森林の保全、教育環境の整備と人材育成、保健医療サービスの改善が求められています。

このような背景から、プログラムオフィサー(行政プログラムの企画立案、運営管理などを行う人)として私はラオス北部のウドムサイ県計画投資局に派遣され、主に公共投資の公共事業の社会的必要性等に関する調査(必要性・効率性・有効性・公平性・優先性)に加え、費用便益分析の指導を期待されていました。



二年間住んだウドムサイの街並み。一年中温暖で緑に囲まれています。

確かに、ウドムサイ県は北部の物流拠点であり中国からの民間投資が活発な地域であることから、公共投資によって民間の活力を広く地域に均霑できれば地域の発展に大きく寄与できるという考え自体には説得力があります。しかし県内には、過去の投資に関する記録はおろか人口や産業の基礎データさえも信頼性が高いものがなく、期待された業務に着手できる環境ではなかったのです。

着任直後、現場を見て焦りや苛立ちを感じた私は、職場では同僚に厳しい態度で接することが多く非常に不愉快なよそ者であったはずですが、しかし、彼らは私の話に笑顔で肯きながら「仕事はその辺にして」と宴席に私を誘い続

プロフィール

有森 俊文

2011年6月～2013年6月までラオス人民共和国へプログラムオフィサー(行政プログラムの企画立案、運営管理などを行う人)として派遣。行政機関職員の仕事遂行能力向上支援を行った。現在は、岐阜経済大学経済学部専任講師。



前列中央

ラオスの大切な友人と。写真を撮るときに密着度が親密度の表れです。

けました。その意味を理解できなかった私はさらに苛立ちを募らせることになったのですが、それでも彼らは態度を変えずそのまま時が過ぎました。ラオスの冠婚葬祭を幾度となく経験し、彼らの文化や生活様式への理解が進むにつれ、私の指導の方法(伝え方)、内容、タイミングが徐々に改善されていきました。それこそが「同僚の狙い」であったかどうかは今でもわかりませんが、ただ、ラオス文化に触れる中で、人に接する際の「鷹揚さ」と困難な状況の中でも今を楽しむ「明るさ」を身に着けたことは、活動の充実につながり、また人生の大きな財産にもなりました。

一方で彼らには、どのような政治体制、宗教意識、人間関係の中でも職務へ誠実さを持ち続ける大切さを伝えることができました。基礎データの収集や書類やデータの管理などを、途上国特有のさまざまな障害があっても私自身が着実に淡々と繰り返しやってみせたことで「自分たちにもできる、やるべきだ」という意識が芽生えたようです。こういった小さな気持ちの変化が、ラオスの経済的発展のきっかけになればと願ってやみません。



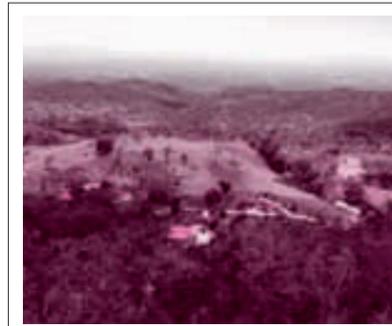
ボートレース祭りの様子
お祭り好きのラオス人が楽しみにしている祭りの一つ。当日は、朝から晩まで宴会が町のあちこちで開かれます。



市場の賑わい
ラオスではなんでも量り売り。自然の恵み豊かなラオスの市場は、いつでも新鮮な野菜や果物でいっぱいです。



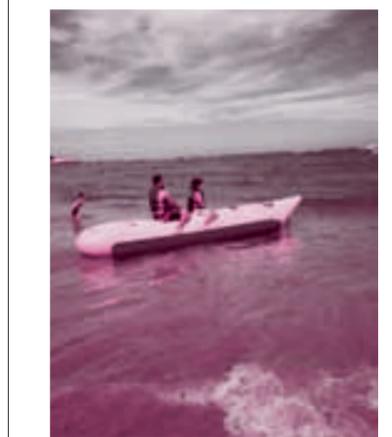
私の国 ドミニカ共和国 ～トロピカル楽園～



故郷であるコンスタンサは、空気がとてもきれいな街。平均気温はおおよそ25℃なので、一年を通して半袖で過ごしている。



リゾートホテル
観光が盛んな地域であるため、リゾートホテルが多く点在する。



海辺での人気のアトラクションは、写真のようなボートに乗って、自然の波にのること。

プロフィール

川添 ジョセフィーナ

ドミニカ共和国、コンスタンサ生まれ。1994年来日。趣味は外国文化と言葉学ぶこと。現在は垂井にてゲストハウスを営み、外国人に日本文化を少しでも知ってもらおうと、奮闘中。



- ✦面積：48,442km²
- ✦人口：約1,053万人(2014年)
- ✦首都：サントドミンゴ
- ✦言葉：スペイン語(スペインの植民地で、1844年に独立)
- ✦有名なもの：コロンブス灯台、コロンブスの家、サンティアゴのモニュメント、カリブ音楽のメレンゲとバチャータ、野球、ボクシング
- ✦ドミニカの人：のんびりでおおらか、やさしい国民性



ババロビーチは、東部海岸地域に位置し、澄み渡るように青い海が特徴。水温は暖かく、砂浜が黄色い色をしている。靴を履かないと歩けないほど砂浜は熱い。



ドミニカ共和国独特の衣装。



ハイキングや登山に適した山脈がある。山頂からカリブ海を見渡すのが人気。



トストーンと魚のフライ
トストーンとは、青いバナナをスライスして油で二度揚げした料理。熟したバナナと違い甘くない。魚は鯛に似た赤い鱗の白身魚が一般的。



プレジデントビールは、ビンが白く曇るまで冷やしてから飲むのがベスト。

